

H30年 2学期学校自己評価(生徒・保護者・職員) 1学期との比較考察

教務

アンケート回答率 1学期⇒ 95.8% 1学期⇒ 78.4%

	在籍(人)	生徒(%)	95.3	保護者(%)	75.7
		実施人数	割合	実施人数	割合
1年1組	31	30	96.8	19	61.3
1年2組	32	29	90.6	18	56.3
1年3組	31	30	96.8	30	96.8
1年4組	32	32	100.0	27	84.4
2年1組	33	32	97.0	24	72.7
2年2組	33	31	93.9	18	54.5
2年3組	33	33	100.0	28	84.8
2年4組	32	29	90.6	21	65.6
3年1組	37	37	100.0	31	83.8
3年2組	37	34	91.9	27	73.0
3年3組	36	32	88.9	31	86.1
3年4組	37	36	97.3	32	86.5
全校	404	385	95.3	306	75.7

生徒アンケート及び職員アンケートの変更点

1学期のアンケート項目は客観的だったが、2学期のアンケートは「私は」という主観的な問いに変更した。

<<<学校重点目標に準拠した考察>>>

生徒1%=3.8人 保護者1%=3人

重点1 授業が分かる、できる授業の実践、授業改善に取り組みます。

私にとって、全体的に授業は、わかりやすい。(生徒項目1)

本校では全体的にわかりやすい授業が行われていると思いますか(保護者項目6)

	H30 生徒				H30 保護者				E 回答%変化		
	AB1学期	AB2学期	CD1学期	CD2学期	AB1学期	AB2学期	CD1学期	CD2学期	1学期	2学期	
全校	85%	83%→	15%	17%	全校	70%	72%→	30%	28%	15%	15%
1年	92%	85%↓	7%	15%	1年	74%	74%→	26%	26%	15%	15%
2年	79%	86%↑	21%	14%	2年	63%	68%↑	37%	32%	11%	13%
3年	81%	83%→	19%	17%	3年	74%	74%→	26%	26%	18%	16%

A:とてもそう思う B:そう思う C:あまり思わない D:思わない E:分からない

私は、家庭学習に毎日取り組んでいる。(生徒項目2)

お子さんは毎日家庭学習をすることができる環境ができていると思いますか(保護者項目7)

	H30 生徒				H30 保護者				E 回答%変化		
	AB1学期	AB2学期	CD1学期	CD2学期	AB1学期	AB2学期	CD1学期	CD2学期	1学期	2学期	
全校	81%	76%↓	19%	24%	全校	62%	65%↑	38%	35%	4%	2%
1年	86%	81%↓	14%	29%	1年	63%	63%→	37%	37%	2%	2%
2年	87%	75%↓	13%	25%	2年	67%	66%→	33%	34%	1%	2%
3年	71%	74%↑	29%	26%	3年	58%	66%↑	42%	34%	9%	2%

A:とてもそう思う B:そう思う C:あまり思わない D:思わない E:わからない

学習指導(職員項目1, 2, 3, 5)

職員

H30

	AB1学期	AB2学期	CD1学期	CD2学期
学習問題・課題を板書しているか(課題の明確化)	84%	88%↑	16%	12%
話し合う場面を取り入れているか(情報交換)	72%	84%↑	28%	16%
わかる授業の・できる授業の実践(授業改善)	54%	68%↑	46%	32%
授業と家庭学習の連続性(家庭学習の定着が図れたか)	56%	72%↑	44%	28%

授業の分かりやすさでは、全体的には大きな変化は見られないが、2年生において生徒・保護者ともわかりやすさの数値が向上した。3年生では取り組み及びわかりやすさの数値が若干向上した。職員の学習指導項目でも各項目で数値が向上した。全体的に良い方向に向かっていると考えられる。今後分かった、できたという感覚が得られるような授業改善を行うとともに、生徒自身の学習意欲の向上や目的意識を明確にしていきたい。

重点2 生徒や教師が協力し、三中をいじめや差別を許さない学校にしていきます。

私にとって、学校は楽しい。  
(生徒項目9)

お子さんは充実した(楽しい)学校生活を送っていると思  
いますか(保護者項目1)

H30	生徒				H30	保護者				E 回答%変化	
	AB1学期	AB2学期	CD1学期	CD2学期		AB1学期	AB2学期	CD1学期	CD2学期	1学期	2学期
全校	78%	78%→	22%	22%	全校	86%	84%→	14%	16%	3%	5%
1年	90%	80%↓	10%	20%	1年	83%	82%→	17%	18%	5%	3%
2年	68%	72%↑	32%	28%	2年	89%	85%↓	11%	15%	4%	5%
3年	78%	81%↑	22%	19%	3年	85%	84%→	15%	16%	1%	5%

A:とてもそう思う B:そう思う C:あまり思わない D:思わない E:わからない

私はいじめや差別をゆるさない態度で生活をしている。  
(生徒項目8)

本校生徒は思いやりのある行動ができています  
か  
(保護者項目5)

H30	生徒				H30	保護者				E 回答%変化	
	AB1学期	AB2学期	CD1学期	CD2学期		AB1学期	AB2学期	CD1学期	CD2学期	1学期	2学期
全校	53%	85%↑	47%	15%	全校	72%	74%→	28%	26%	12%	13%
1年	64%	82%↑	36%	18%	1年	70%	70%→	30%	30%	13%	13%
2年	57%	85%↑	43%	15%	2年	78%	78%→	22%	22%	17%	15%
3年	40%	88%↑	60%	12%	3年	69%	74%↑	31%	26%	9%	11%

A:とてもそう思う B:そう思う C:あまり思わない D:思わない E:わからない

私は生徒の悩みや相談にのろうとつとめている(職員項目11)

私はいじめや差別を絶対ゆるさない指導、雰囲気につとめている(職員項目12)

職員 H30

	AB1学期	AB2学期	CD1学期	CD2学期
私は生徒の悩みや相談にのろうとつとめている(職員項目11)	97%	93%→	3%	7%
私はいじめや差別を絶対ゆるさない指導、雰囲気につとめている(職員項目12)	93%	96%→	7%	4%

A:とてもそう思う B:そう思う C:あまり思わない D:思わない

私にとって、学校生活は、安心・安全(過ごしやすく・危険  
がない)な環境であると思う。(生徒項目10)

学校生活は安心で安全な環境であると思  
いますか  
(保護者項目4)

H30	生徒				H30	保護者				E 回答%変化	
	AB1学期	AB2学期	CD1学期	CD2学期		AB1学期	AB2学期	CD1学期	CD2学期	1学期	2学期
全校	79%	76%↓	21%	24%	全校	82%	84%→	78%	16%	6%	6%
1年	88%	83%↓	12%	17%	1年	79%	79%→	21%	21%	7%	7%
2年	80%	72%↓	20%	28%	2年	85%	87%→	15%	13%	5%	6%
3年	70%	74%↑	30%	26%	3年	82%	85%↓	18%	15%	6%	6%

A:とてもそう思う B:そう思う C:あまり思わない D:思わない E:わからない

「学校が楽しいか」のアンケートに対して、生徒では1年生は減少したが、2・3年生では数値が向上した。1年生では、中学生として新しい学校生活の中での戸惑いなども感じられる。2・3年生では学校生活の安定と同時に、大星祭や小運動会などのさまざまな活動の取り組みにも充実感が得られるようである。

2学期は「私は、いじめや差別を許さない態度で生活している」と主観的に回答することを求めた。アンケートにはすべての学年でABの割合が高くなった。1学期での「いじめや差別を許さない雰囲気」を問うた客観的なとらえとは大きな違いが見られた。生徒の多くは、「いじめや差別は許さない」という意識で学校生活を過ごしていることが分かった。1学期と2学期で視点を変えたアンケート内容から、自分の「許さない」想いに反する場面を目にしていることがわかる。今後は、道徳学習や日常の出来事をチャンスととらえ、生徒の意識をさらに高めるとともに、素早い対応や本質的な指導を心がけていきたい。

「安心・安全」では、新しい校舎への期待が保護者の結果から伺える。生徒では3年以外は数値を下げている。2・3年生はプールや校庭、テニスコート、外構工事などでの不便が出たのかもしれない。今後の完成を待ち、より良い学校環境を整えていきたい。

**重点3 キャリア教育を推進し、三中に地域から学ぶ学習を取り込みます。**

○キャリア教育について

私にとって、学校の中で進路や生き方について、考えたり、学んだりする機会がある。(生徒項目7)

各学年の生徒の実態に応じて、進路(キャリア)学習が役立っていますか。適切な進路選択に役立っていますか(保護者項目9)

H30	生徒				H30	保護者				E 回答%変化	
	AB1学期	AB2学期	CD1学期	CD2学期		AB1学期	AB2学期	CD1学期	CD2学期	1学期	2学期
全校	86%	82% ↓	14%	18%	全校	70%	75% ↑	30%	25%	25%	25%
1年	78%	75% ↓	22%	25%	1年	74%	74% →	26%	26%	38%	38%
2年	86%	79% ↓	14%	21%	2年	71%	72% →	29%	28%	23%	21%
3年	94%	92% →	6%	8%	3年	68%	78% ↑	32%	22%	17%	18%

A:とてもそう思う B:そう思う C:あまり思わない D:思わない E:わからない

○学校と家庭の連携について

学校、学年、学級だより、絆メールなどで学校の様子をお伝えしていますが、十分に伝わっていると思いますか。(保護者項目12)

学校開放日や三中体験授業(新入生向け)を通して、学校への理解や関心が高まっていると思いますか。(保護者項目13)

本校は、保護者や地域の要望に前向きにこたえようとしていると思いますか(保護者項目14)

保護者 H30

E 回答%変化

	AB1学期	AB2学期	CD1学期	CD2学期	1学期	2学期
学校、学年、学級だより、絆メールなどで学校の様子が十分に伝わっているか	84%	83% →	16%	17%	1%	3%
学校開放日や三中体験授業(新入生向け)を通して、学校への理解や関心が高まっているか	81%	83% →	19%	17%	10%	11%
本校は、保護者や地域の要望に前向きにこたえようとしているか。	83%	81% →	17%	19%	14%	16%

A:とてもそう思う B:そう思う C:あまり思わない D:思わない E:わからない

キャリア教育では3年生では進路相談による数値の向上が見られる。総合的な学習(キャリア教育を含む)のねらいに沿った、年間の見通しをもち、職業観やコミュニケーション能力の育成、自己有用感の向上などを活動を積み重ねて育成していくことを意識していきたい。大星祭を活動の経過報告的な情報発信の場として位置づけ、情報発信力の育成と共に地域や保護者へ活動を周知していきたい。

学校と家庭の連携については、大きな数値の変化は見られなかった。子どもを育てていくことを目指して地域・家庭・学校と互いに協力しあう方法や内容を明確にしたい。また、キャリア教育とも重ね、家庭と地域での教育の部分の役割を考えていければよいと思う。

**<体罰アンケートについて>**

保護者アンケートに体罰ありに○がついたアンケート用紙はありませんでしたが、授業中の生徒への指導についてご意見をいただきました。生徒からは日常の教師の言動に疑問を持った意見がありましたが、校長・教頭で体罰事案ではないことを確認し、今後の指導改善を検討しました。今後も生徒と共に成長していくという立場で子どもたちと関わっていくことが大切だと感じました。